

未来の三保文化を守る地域づくり ～松葉を活用した循環型松原共生プロジェクト～



静岡農業高等学校

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目1-1
TEL 054-261-0111
URL <http://sizuno.terakoya.tv/>



三保松原は平成25年度、富士山構成資産として世界文化遺産に登録され、その美しさから日本新三景・日本三大松原のひとつとされています。

しかし、地域では景観を保つため松葉が多く剪定され、松葉の廃棄にかかる費用が三保地域の大きな負担になっています。また、枯れ松葉による土壌の富栄養化や、車の排気ガス、振動などが原因で松枯れが進み5万本近くあったとされる松が3万5千本にまで減少するなど、問題になっています。

そこで学校で学んだ食品化学・食品製造の知識を応用的に活用し、剪定された松葉や、落ちた松葉を有効活用する取り組みを行っています。

開発した商品を三保松原で販売し、現状を訴える事で松原保全意識が高まり、地域全体が自主的に松葉を拾うようになるのではないかと考え、循環型サイクルを作り出すことで、地域活性や松原保全を行う事を目的としています。

【具体的な活動内容】

- ・ 行政が剪定した松葉の引き取りや、NPOと共同で実施した清掃活動により青松葉・枯松葉を回収し、活用方法を模索しました。
- ・ 基礎研究により「ケルセチンの含有量」「抗酸化作用」「松葉とお茶の抗酸化力相乗効果」「抗菌作用」「血管拡張作用」など、松葉の効能を発見しました。
- ・ 企業との共同開発により、青松葉からは「松葉茶」「松葉醤油」、枯松葉からは入浴料などの商品開発を行いました。
- ・ 経済効果や、地元住民の健康増進などを考え、開発した商品を三保松原で手売り販売を行いました。収益の10%を三保地域振興資金として保全活動に活用しています。
- ・ 保全活動では観光客への足湯ノベリティーの配布や、小学校での出前授業足湯イベントなどにより保全意識の啓発活動をしています。



松葉の成分を調べる実験の様子



松葉商品販売の様子



松原保全活動の様子